

石巻日日新聞

石巻日日新聞社
〒986-0874
石巻市双葉町8番17号
電話 0225-95-5231
ファックス 0225-94-4720
郵便振替口座 02240-3-4424

◎石巻日日新聞社 2016
Hibi-net
http://www.hibishinbun.com
info@hibishinbun.com

安全・安心のプレゼンター



石巻市中里三丁目6の12 ☎(95)90003
ネット/仙台・塩釜・古川・名取・気仙沼

同和警備

壁のかかる労働への就労

若年無業者支援シンポ



支援団体や受入れ企業の代表者らが登壇した

太陽の下で働く喜び推奨

訓練の場として活用するために」を主題に議

論を進めた。それぞれの団体・企業は独自の職業訓練プログラムを持っているが、支援団体の仲介があった場合のメリッ

トは少なくない。就労希望者とのコミュニケーションの点から「良いことも悪いことも情報共有が図れる」とした。

また、希望職種とのマッチングでは「より多くの選択肢を与えた上で最終的には本人の意志」生活リズムを作

り直すためにも、まずは陽を浴びながら体を動かさせる。一次産業が良

石巻LCアゼリア支部 滑っても転んでも笑顔 プレナでスケート教室

女性たちの社会貢献 団体石巻ライオンスク

どもたちは、白い息を吐きながら笑顔でリンクを滑走した。

同支部は約30年にわたって活動を展開してきた石巻ライオンスク

ラフが名称変更し、昨年8月に発足。青少年の健全育成を目的とした今回のスケート教室

は、アゼリアクラブ支部として初の主催事業となった。

を聞いた。参加した子

この日は石巻地方から27人の小学生が参加。何度も転びながら氷上での動き方をつか

もうとする初心者も、友達と競走して楽しむ経験者も、それぞれに

弾けるような笑顔を見せていた。

石巻4年の阿部汐里さんは皆で滑るのが楽しい。もっとうまく

若年無業者などの社会参画の手法を探る「一次産業の底力で中間的就労支援を加速させるシンポジウムin石巻」が20日、石巻魚市場の研修室で開かれた。若者の就労支援団体や受け入れ企業の代表者らが集まり、実績や課題を共有しつつ、今後の取り組みのあり方を捉えた。

を中心に入手不足が続く中、就労支援による打開策が求められる。しかし、いきなりの一般就労は難しいことから、そのためのステップとしての中間的就労支援のニーズが高まっており、一般就労の前段階として職業訓練やインターンシップ

などの手法が模索されている。この日ははじめに主催のNPO法人ス

イッチー仙台市宮城野区IIの高坂岳詩さんが、同法人が運営する石巻NOTBの活動について報告。地域団体と連携した賃金を伴うインターンシップや「パイターン」などを説明した。

パネルディスカッションには、支援団体として公益財団法人共生地域創造財団の多々良水さんと若手漁業者らの連携による人材育成を目指す一般社団法人フィッシュャーマンジャパンの島本幸奈さん、パイターンの受入れ先としてたらこ製造販売業の湊水産の倉本治常務と農業生産法人田伝むしの木村純社長が登壇した。

NPO法人まなびのたねネットワークの伊勢みゆき代表理事がコーディネーターを務め、「農林水産業を就労

員」の資質向上により児童の

28年度から小中学校に

総務省が本年度実施した労働力調査によると、15～34歳の若年無業者は全国56万人で、同じ年代の人口の2.1%を占める。石巻地方でも不登校や障害な

どをきっかけとする若者の無業状態は深刻で、震災後は企業や本人の被災により失職した人々の再就職も課題。人口減少や若者世代の流出で、一次産業

を占める。石巻地方でも不登校や障害な

を占める。石巻地方でも不登校や障害な

を占める。石巻地方でも不登校や障害な

を占める。石巻地方でも不登校や障害な

を占める。石巻地方でも不登校や障害な

を占める。石巻地方でも不登校や障害な

石巻市議会 代表質疑

代表質疑

代表質疑

代表質疑

代表質疑

代表質疑

代表質疑

代表質疑



表情でリンクを滑る子どもたち

「復興だ、すぎる」と、負担付けるようである向きもある。このままボールでいたら子ども復興への関心、一方だ▼10歳

暖流寒流

暖流寒流